

■中国：直流 80 万 V 送電線が運用開始

金沙江（長江上流部の名称）下流部に建設中の向家壩（Xiajiaba）水力発電所から上海までの直流 80 万 V 送電線のモデル工事が竣工し、2010 年 7 月 8 日に運開した。この送電線は金沙江下流部で開発される大規模水力発電所の電力を送出するもので、四川省宜賓市の変換所と上海市の奉賢変換所を結んでいる。途中、重慶市、湖北省、湖南省、安徽省、浙江省、江蘇省を經由し、亘長は 1,907km におよび、公称送電容量 640 万 kW、最大送電容量 720 万 kW で、総投資額は 232.74 億元である。